

保守検査部門

保守検査部門は、その役割を、「プラント・設備などの安全性や信頼性を維持・向上させるために、溶接部、応力集中部、腐食等の劣化危険性の高い部位、高温設備・高圧設備等の劣化可能性の大きい設備、劣化進行部位・部品を多数保有する設備などについて、その劣化程度の検査、信頼性評価、コンディションモニタリング、及び余寿命診断評価などを行い、さらに安全性と経済性を総合評価して寿命延命策を検討、部分補修、単純更新、弱点部位の改善更新、等々の寿命延命策を推進すること」と設定しています。

保守検査部門は、プラント・設備が使用され始めてから廃棄されるまでの長期間に亘って、その健全性を確保するための、管理技術を含むあらゆる技術に関連するものであるため、年2回程度のシンポジウムで産官学の専門家達による講演と、議論を行うことを主要活動とする予定です。

【キーワード】

プラント・設備の劣化診断、信頼性評価、コンディションモニタリング、余寿命診断評価、寿命延命